

# 熊本県感染症情報 (11月1日～11月7日)

KKT 熊本県民テレビ 医療サイト事務局

◆◆◆感染症胃腸炎、RSウイルス感染症、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の報告が多い◆◆◆

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	6	3	百日咳	0	2
RSウイルス感染症	60	38	ヘルパンギーナ	16	7
咽頭結膜熱	8	12	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	55	67
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	36	43	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	206	227	流行性角結膜炎 (はやり目)	2	3
水痘	40	43	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	9	8	無菌性髄膜炎	1	1
伝染性紅斑 (りんご病)	43	22	マイコプラズマ肺炎	3	0
突発性発しん	25	34	クラミジア肺炎	0	0

- 感染性胃腸炎は、報告数 206 件(前週報告数 227 件)と減少。  
地区別では、人吉、菊池、山鹿に多く報告がみられる。  
年齢別では、1歳の 31 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- RSウイルス感染症は、報告数 60 件(前週報告数 38 件)と増加。  
地区別では、菊池、八代、熊本に報告が多くみられる。  
年齢別では、1歳の 27 件を最多に、4 歳以下からの報告である。
- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、報告数 55 件(前週報告数 67 件)と減少。  
地区別では、山鹿、八代、宇城に多く報告がみられる。  
年齢別では、3 歳及び 4 歳の 9 件を最多に、10～14 歳以下からの報告である。

## RSウイルス 感染症

RSウイルス感染症は例年、9月下旬から増え始め、冬場にピークを迎えます。10月は毎週40件前後で推移していましたが、今週は60件の報告がありました。RSウイルスは、呼吸器感染症の原因のひとつで、年齢を問わず感染し、かぜの様な症状がみられます。健康な成人においてはあまり心配する必要はありませんが、新生児～乳児期に感染すると重症化し「細気管支炎」を引き起こす場合があります。細気管支炎は、発熱や咳、鼻水など、かぜの症状が始まりますが、次第に咳がひどくなり、「ゼイゼイ」と苦しそうな息になってきます。「ゼイゼイ」が治まっても、痰がからんだ咳がしばらく続きます。症状がひどい場合、入院での治療が必要になることがあります。特に6ヶ月未満の赤ちゃん、未熟児、呼吸器系や循環器系の基礎疾患がある方などは、重症になりやすい傾向があります。患者の咳やくしゃみ、それに触れた手などから感染します。RSウイルスの流行状況に注意し、特に小さなお子さんに「かぜ」をうつすことのないよう、注意しましょう。

## ◆◆◆年齢別発生状況（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点）◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5歳	6～11 カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳 以上	
インフルエンザ	6			2	1	1	1									1						
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上							
RSウイルス感染症	60	7	12	27	7	4	3															
咽頭結膜熱	8		1	2	2	1	1			1												
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36		1	3	2	3	3	2	4	4	6	5			3							
感染性胃腸炎	206	6	14	31	26	20	24	13	6	11	8	9	18	5	15							
水痘	40	1	6	4	17	7	3		1				1									
手足口病	9		1	6			1	1														
伝染性紅斑	43		1		7	4	5	7	4	6	4	3									2	
突発性発しん	25	1	14	10																		
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	16			5	1	1		3	3		1	1	1									
流行性耳下腺炎	55	1		2	6	9	9	7	6	4	5	1	5									
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	2													1		1						
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1	1																				
マイコプラズマ肺炎	3			1						1												1
クラミジア肺炎	0																					